

日本 K-ABC アセスメント学会会員各位

K-ABC 中央事例研究会のご案内

新年度が始まりました。今年度第1回中央事例研究会を下記の通り開催いたします。KABC -II の検査結果の分析や解釈、支援への活用についての研修会です。元号が令和に改まって最初の記念すべき事例研究会でもあります。ぜひご参加下さい。

記

日時 : 2019 年 5 月 25 日 (土) 14:30~16:30
発表者 : 佐竹絵理先生 (山形県米沢市立第三中学校)
テーマ : ASD を持つ中 3 生徒への英文読解力を付けるための指導方針
～視覚処理能力、視覚と聴覚の対連合学習を活用して～

概要 : 英文の意味をとらえることの苦手さを主訴とする中 3 生徒への指導方針について事例報告を行う。同時処理能力、視覚と聴覚の対連合学習を活用して、人称代名詞習得に関する指導を行ったところ、人称代名詞については活用することができるようになった。しかし、「繰り返し練習して、形で覚える。」という学習方法では習得が難しいという課題が見えてきた。そこで、同時処理能力を生かした英単語の読み指導を行い、音韻の感覚をつかめるような工夫をしたところ、全 5 回の指導終了後には、レディネステストで用いた 30 単語を全て読むことができるようになった。中 3 へ進級し、受験を控えた対象生徒の「英文の意味が分かるようになりたい。」という新たな課題に対して、視覚処理能力と、視覚と聴覚の対連合学習を活用して「英文読解力を伸ばすこと」に対する指導方針を立てた。

会場 : 『アトラスタワー 茗荷谷』 3 階 図書文化社 301 大会議室

会場へのアクセス (地下鉄茗荷谷駅徒歩 1 分)

- ① 茗荷谷駅改札を春日通り側に出る。
- ② 茗荷谷駅を背に左側のベージュ色の高層ビルの 3 階です。(春日通りに面したビル)
- ③ 春日通り側から 1F ローソン横の屋外エスカレーターまたは階段を上がり、屋内エレベーター (1 か所) で 3 階までお越し下さい。

中央事例研究会の案内はメール配信のみとなります。中央事例研究会の情報については、学会のホームページ&会報でご覧いただけますが、メール未登録の会員の方がいらっしゃいましたら、アドレスを事務局にご連絡くださるようお願い下さい。(携帯のアドレスは不可)

事務局 (E-mail : honbu-jimu@k-abc.jp)

尚、この事例研究会は学校心理士資格更新 B 1 のポイントとなるよう申請中です。

また本研究会の聴講証明書を発行致しますので、当日お申し出下さい。

日本 K-ABC アセスメント学会中央事例研究会担当 小野純平 小林玄
〒112-0002 東京都文京区小石川五郵便局留 Tel/Fax 03-3944-1390